

■ 説明会の記録

10. 三島小学区

日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）10：00～12：00

出席：59名（子どもを除く）



■『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会 質問・回答一覧(三島小学区)

主な質問・意見		回答
1. 基本計画全般について		
1	今回の説明会で出た意見は反映されるのか。	反映できるものは反映したいと考えている。
2	学校適正配置審議会の委員はどのような方なのか。	審議会の委員構成は、小学校PTA関係者会長12名、校長会代表1名、区長会代表1名、市議会議員3名、学識経験者1名、公募による市民2名の計20名で構成されているメンバーで検討してきた。
3	平成35年の目標年度までに、どのくらいのスケジュールで統合するのか。	平成35年には小学校を6つにしたいと考えている。統合する時期は決まっていない。これからの話し合いのなかで、統合の機運が高まってからということと考えている。陽光台小学校でも準備に1年半はかかったので、統合すると決まっても1、2年くらいかかるのではないかと考えている。
4	中高一貫校の構想はしているのか。	現時点ではない。
5	複式学級の解消には、どのくらいの期間がかかるのか。	本来ならすぐにでも解消させたいが、一方的にはできない。ただ、できる限り早く解消させたいと考えている。
6	複式学級を早急に解消し、1学級1クラス的环境にしたい。	貴重なご意見として承りたいと思う。
7	(仮称)富士見ヶ丘小の学区を早く決めてほしい。家庭の事情や準備がある。どのような流れになるかを教えてほしい。	(仮称)富士見ヶ丘小の学区は学区審議会で現在作業をしているところである。 (仮称)富士見ヶ丘小の設計規模は高速道路で区切った場合で、児童数を仮に決めて行っている。
8	どのような形で市民の意見を反映しているのか。	平成25年度にアンケートを行なった。また、審議会の委員に一般の方、公募の方が入っている。
9	反対意見を尊重してほしい。また、どのような方が反対しているのか。	歴史のある学校でこれからも残して欲しいという意見などがあつた。
10	合意形成の方法はどう考えているのか。	アンケートなどを取って具体的な数値があつたからとかではなく、話し合いの中で、それぞれの課題部分の解消を考え、

		機運の高まり状況を確認しながら、進めていきたい。
2. (仮称) 富士見ヶ丘小の建設について		
1	(仮称) 富士見ヶ丘小の建設予定地は決まっているのか。	富士見ヶ丘2丁目18番地1が予定地となっている。みらい平地区(伊奈・谷和原丘陵部地区)の土地利用計画図で言えば、「教育施設」となっているところが3箇所ある。それが小学校・中学校用地である。
2	(仮称) 富士見ヶ丘小の建設はいつから開始するのか。	平成28年の夏頃から着工予定となっている。
3. 来年度以降の説明会について		
1	今後の説明会の位置づけについて教えてほしい。	今回初めて市の考え方を示させていただいた。来年度以降懇談会をして話し合いをしていくことと考えている。
2	来年度以降の説明会も今回と同様の説明会となるのか。	進め方については、今後検討していきたいと考えている。
3	説明会の案内はどのような形で伝達するのか。	広報や学校からの通知でお知らせすることと考えている。また、来年度からは各学校に出向いて開催したいと考えている。
4. 情報公開について		
1	これまでの説明会で出た意見で、重要な情報は共有したい。どのような意見があったか。	「みらい平地区の児童が既存地区の学校に通うことで既存地区の学校を維持することができないか」といった内容や「どのような形を持って合意とするのか」といったご意見があった。 前者については、みらい平地区の説明会時にお聞きしたが既存地区の学校に行かせたいという意見はなく、特徴的な教育プログラムを実施するなど+αの要素がなければ難しいのではという意見があった。 また、後者については、アンケートなどを取って具体的な数値があったからとかではなく、話し合いの中で、それぞれの課題部分の解消を考え、機運の高まり状況を確認しながら、進めていきたいという話をしている。
2	審議会の内容を公開してほしい。	ホームページ等を通じて公表するなど、できる限り情報を公開していきたい。
3	検討の経緯を知りたい。情報公開をお願いしたい。	今後、ホームページ等においてより詳しい審議会での検討経緯を伝えられるようにしていきたい。
5. 中学校について		
1	中学校について、どのような状況となっているか。	答申では、既存の4中学校を前提に、また、みらい平地区に学校用地があることなどから、今後も検討することとしている。 みらい平の住所を有する児童は、伊奈中学校又は谷和原中学校を選択できるが、谷和原中は増加傾向にある。 選択制となっているみらい平地区の学区については、できるだけ早く学区を決めたいと考えている。